

それで、よかよか

～寛容の精神が醸成される社会へ～

生徒の8割が不登校の経験を持つ立花高等学校において、「心の癒し」に重点を置いた教育実践の取り組みについてご講演いただきます。

講演会を通して、「いいんだよ」の共感的理解の大切さを学び、不登校や行き渋りについて正しく理解し、家庭内や地域などにおいて、子どもとの向き合い方を考えていきます。



日時

2026年

9月19日(土) 13:30～15:00

場所

筑紫野市総合保健福祉センター カミリーヤ 2階 視聴覚室
(筑紫野市岡田3-11-1)

講師

学校法人立花学園 立花高等学校
校長 齋藤 真人 氏

対象

保護者・地域の方など関心のある方

申込

右記の二次元コード
もしくは電話にて



(二次元コードはこちら)

【講師プロフィール】

宮崎県生まれ。
宮崎県内の中学校勤務を経て、
平成16年より立花高校の教頭として赴任、
平成19年より校長に就任。
不登校生徒自立支援の教育方針のもと、
「心の癒し」に重点を置いた教育実践が
大きく注目され 自治体や教育関係者より
依頼を受け、全国各地で講演されています。

【主催】社会福祉法人筑紫野市社会福祉協議会

【問い合わせ】地域福祉課 地域福祉担当 ☎(092)920-8008



この講演会は皆さまからお寄せいただいた「赤い羽根共同募金」の配分金で開催します。